

# かわかんネット

発行：一般社団法人 東北河川管理技術研究会事務局

〒980-0802 仙台市青葉区二日町 18-25 シャルム二日町 3F

E-mail: triver@ae.auone-net.jp Tel: 022-398-8831 Fax: 022-398-8832

## 東北河川管理技術研究会総会を開催

### I. 東北河川管理技術研究会 第16回通常総会を開催

日 時：令和7年 6月24日（火）10:00～

場 所：（一社）東北地域づくり協会 公益ビル 会議室

1. 開会のことば
2. 会長あいさつ  
三浦会長あいさつ



### 3. 定足数の確認

最初に出席者を確認、総社員数104名（個人89名、団体15社）中、出席者34名（個人32人、団体2社）、権限委任者40名、総出席者74名となり定足数を満足しているので、「総会の成立を宣言」しました。（定款第19条第1項により、総社員数の2分の1以上）

## 議 事

### (1) 議長選出

議長には、三浦 昭会長を選出。

(定款第18条 総会の議長は、会長とする。)

### (2) 書記指名

事務局より高橋 長幸氏、高橋 忠良氏の  
2名を書記に指名。

### (3) 議事録署名人選出

佐々木 秀明氏、中川 博樹氏の2名を選出。

(定款第21条第2項)

### (4) 議題

#### 第1号議案 令和6年度事業報告

事務局より、第1号議案令和6年度事業報告について説明。

令和6年度事業報告については、異議なく「承認」されました。

#### 第2号議案 令和6年度決算報告書

令和6年度決算報告書及び監査報告については、関連することから一括して審議。

事務局より、令和6年度決算報告書として、貸借対照表、損益計算書、個別注記表を説明。

監査報告は、監事である阿部 晋二氏から報告。

令和6年度決算報告については、異議なく「承認」されました。

#### 第3号議案 令和7年度 事業計画 (案)

事務局より令和7年度事業計画 (案) について提案。

令和7年度事業計画 (案) については、異議なく「承認」されました。

#### 第4号議案 令和7年度 収支予算書 (案)

事務局より令和7年度収支予算書 (案) について提案。

令和7年度収支予算書 (案) については、異議なく「承認」されました。

#### 第5号議案 理事改選について

今般、役員改選はありませんが、欠員が生じたため後任の理事を理事会において選任、この場で承認をお願いしたく提案。

理事として、佐藤 喜一郎氏が異議なく「承認」されました。

## 5. その他

事務局より会員の分科会加入を複数可能とする旨を周知しました。

## 6. 閉会のことば

議長は、10時40分閉会を宣言しました。



以 上

## 分科会活動

### ダム管理分科会「摺上川ダム」意見交換会を実施

#### 令和6年度 ダム管理分科会と摺上川ダムとの意見交換会

日時：令和7年2月25日（火）

13時00分～16時00分

場所：摺上川ダム管理所

出席者：摺上川ダム管理所

三浦所長、岩本専門職、斎藤管理係長

東北河川管理技術研究会 ダム管理分科会

谷田、佐々木、阿部、佐藤（浩）庄子、三浦（義）、森

河川部河川管理課

平館課長、武田建設専門官

#### 次 第

1. ハイブリットダムの試行に関して（30分）
  - ① 管理所からの説明
  - ② 質疑・意見交換
2. 試験放流に関して（30分）
  - ① 管理所からの説明
  - ② 質疑・意見交換
3. ダムフォローアップ委員会に関して（1時間）
  - ① とりまとめ、整理に関する説明
  - ② 質疑・意見交換
4. ダムの合同視察（1時間）  
（インフォメーションセンター、ハイブリットダム運用のゲート設備  
ダムフォローアップ委員会開催での気になる箇所 等）
5. 懇親会



三浦 摺上川ダム管理所長 挨拶



意見交換会 状況



現場での課題説明、意見交換 状況

## 東北地方整備局の河川技術研修に講師派遣

東北地方整備局が実施する河川技術（管理）研修、河川技術（ダム管理）研修に派遣依頼を受け、それぞれお二人に講師として出席していただきました。

河川技術（管理）研修では、高橋一氏、八木恵里氏に 10 月 23 日の「現場実技研修（広瀬川堤防）」、24 日の「グループ討議（講話）」にて、河川技術（ダム管理）研修では、谷田広樹氏、佐々木秀明氏に 10 月 22 日の「現地研修（長井ダム）」、23 日の「ダムの維持管理」にて研修生への指導にあたっていました。



広瀬川堤防での現地研修



河川技術（管理）研修での講話



河川技術（ダム管理）研修での講義



長井ダムでの現地研修

## 流量観測現地講習会を開催

流量観測の現地講習会を開催しました。これは、北上川下流河川事務所の協力を得て、当研究会の共同調査・研究の一環として、研究会の企業会員である（株）三協技術、（株）福田水文センターほか、（株）古川測量設計事務所、（株）センソクコンサルタント、（株）仙台測器社、（株）ハイドロシステム開発が共同で実施したものです。

場所：吉田川落合水位観測所周辺の河川敷

日時：令和7年11月14日 10:00～12:00

講習内容

### 1) 非接触型流量観測

- ・落合水位観測所に設置したカメラの画像解析による流速観測と従来浮子観測との精度検証報告

### 2) ADCP を用いた低水流量観測

- ・ラジコン ADCP ボートによる流量観測と ADCP による深淺測量の紹介

### 3) 高水流量観測

- ・自動浮子投下装置、GNSS 装着浮子の紹介
- ・電波流速計の紹介

当日は、天気は良いものの風が強い河川敷でありましたが、下流事務所の職員をはじめ関連企業の方30名余りの参加者があり、流量観測の新技术を実際に体験することができました。



## 編集後記

分科会活動状況の掲載が時宜を逸したことをお詫びします。  
令和7年度の新入会員の申込みも順次いただいているところです。また、会員の皆様には、職場など変わられた方もいらっしゃるかと存じます、連絡先など変更ある場合は、事務局にお知らせください。

今年は6月から7月の小雨で各地で渇水の状況を伝えるニュースが相次ぎました。8月上旬の雨で一息という地域もあったようですが、鳴子ダムでは、貯水率0%とという記録的な渇水の中、最低水位以下の貯留水を活用して、出穂期のかんがい用水を切れ目無く補給したということでした。また、渇水の一方で9月初、秋田県を中心に大雨があり洪水被害が発生しました。大雨の2週間後に国道105号を通る機会があり、国道から見る桧木内川沿線は被災した家屋、流木が散乱した田畑など洪水の爪跡がそのままでした。お隣の阿仁川の森吉山ダムでは既往最大となる流入量に対し、洪水調節により下流河川水位を下げる効果を発揮したとのこと。渇水、洪水においてダムのある流域とない流域では生活や経済に及ぼす影響が大きく違うということをあらためて思ったと思います。

会員の皆さまには、今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。